



スーパーコンピュータ「京」

資料登録番号
2019-06

「京(けい)」は、2012年に完成した理化学研究所のスーパーコンピュータです。1秒間に約1京回(10,000,000,000,000,000回)もの計算ができるということで「京」と名付けられました。しかし、私たちが使うパソコンやスマートフォンでも5年や10年で古い機種…。第一線で活躍してきた「京」も2019年に役目を終え、現在は後継機の「富岳」が活躍しています。

そこで、運用を終えた「京」のシステムラックを理化学研究所から寄贈していただきました。「京」は、横に24台、前後に36台、計864台ものシステムラックからなっていて、最前列の24台にのみ強化ガラス製の赤いフロントカバーが取り付けられていました。寄贈していただいたのは、その最前列の内の1台です。「J01」という番号が付いていますので、写真2の矢印の筐体ということになります。武田双雲氏の「京」の文字のロゴが貼ってあったのは真ん中の2台だけなのですが、寄贈時に理化学研究所がサービスでこの「京」の文字を貼ってくれています。

展示場1階で展示していますが、左側にまわれば、内部もなるべく見えるように展示していますので、ぜひ実際に本物の「京」の姿をご覧ください。

長谷川 能三(科学館学芸員)



写真2. 稼働していた当時の「京」の様子(矢印が寄贈された筐体)



写真1. 1階で展示している「京」のシステムラック